

たかお会特別企画活動「春の房総」サイクリング

活 動 報 告

- 実施日 4月21日(火)～22日(水)
- コース 1日目 JR外房線茂原駅→九十九里→太東崎→大原→御宿→勝浦→
安房小湊→鴨川→千倉(民泊) 【一走行73Km】
2日目 千倉→館山港→北条海岸→南房総市→富浦→岩井→勝山→保田
→浜金谷→竹岡 JR竹岡駅で自転車を畳み内房線に乗車
【一走行72Km】
- 参加者 男性4名 (板橋区 小松・深見 船橋市 安達 八王子市 武田)

《概況 1日目》

•天候は曇り、茂原駅10:00集合で愛車を組立し、10:30 九十九里海岸に向けて県道 84 を東進し海岸線へ出る。

•九十九里有料道路の長生インターから本番スタート。有料道路沿いには九十九里自転車道が整備されており、出発の記念撮影。サイクリングロードは車が来ないので快適だ。

•県道 30 合流後、一宮川を渡り、国道 128 に合流すると程なく太東漁港、道路端のラーメン屋で昼食を取った。ここからは海岸線のお楽しみサイクリングロードへ向かう。最初は快適だったが、途中で自転車道は砂に埋まって居り、砂上に出て居る砂防堤(コンクリート幅 40 センチ)の上を手押しで進むも、結局、走れる路面自転車道は無く、自転車道を諦め、町道に戻り南下を続ける。

•再び国道 128 に合流、しばらく走り御宿に到着し、月の砂漠の砂浜を眺めた後はひたすら南下し、勝浦、行川アイランド、小湊、鴨川と走るも、国道はほとんど街中を外れて居り、外房の荒海を左に見て黙々と走り続ける。

•途中トンネル内で路肩の傾斜と泥に前輪をとられたり、ギアチェンジでチェーン外れなどのトラブルの小休止をもあったが、鴨川シーワールド、江見海岸を経て、和田浦で 128 号と別れて房総フラワーラインに入る。

•前照灯も点灯し、千倉へ向けて最後の走りに入る。現在地確認で止まった交差点で快い香りに包まれるも、日が暮れて香りのもととは分からないまま進んで、程なく今夜お世話になる民宿に到着、19:00。

•昼食休憩を除くと約 7.5 時間・走行 73 キロとなる。

•民宿では延着にも拘わらず快く出迎えていただき、海の幸一杯の夕食を楽しみ、入浴後は缶ビールで今日の走りと自転車談義などで時を忘れて 11:00 就寝。

《概況 2日目》

•6:00 起床、快晴。洗面・身支度後、早速自転車で海岸へ出て、太平洋をゆっくりと実感、そのあと昨日の芳香の元を探しに、昨夜の道を 10 分ほど戻った。香りの主は道の両側に植えられた「ローズマリー」であることが判明、宿に戻って朝食。

・民宿の御かみさんに昨夜の香りのことを話すと、庭のローズマリーの枝を4人分いただき、帰宅後挿し木で増やすため、大事に包み込む一幕もあり、嬉しい1日の始まりとなる。

・8:40 民宿発、千倉駅前飲料水や名産の「安房ひじき」を、とても軽い土産に買い、走行開始となる。今日の出だしは国道を避け、交通量の少ない県道188を西進、緩やかな登りと心地よいダウンヒル、田園の中のサイクリングで昨日の疲れを忘れて内房海岸の館山港までの一走りとなる。

・館山港からは「内房なぎさライン」を北上することとなり、北条海岸、那古海水浴場、富浦学園、大房崎を左に見て多々良で国道127に合流、岩井、勝山、保田も通過し、ひたすら北上する。

・途中国道わきの遊歩道を走って行くと国道はトンネルになり、遊歩道は国道をそれ、しばらく行くところとした山道・ゴロゴロ岩道になり、自転車を担いで国道に戻るハプニングもありで、これも自転車ツーリングならではの場面となった。

・浜金谷手前の吉浜の道の駅「きょなん」で昼食、シラスどんぶり、クジラなど海の食を楽しみ、再び北へ走行を再開、保田を過ぎ程なく浜金谷に到着する。

・三浦半島久里浜行きのフェリー乗船口を見た後、この後の走行と時間を確認、3ヶ所先の竹岡駅で、自転車を置くことを決め、走行再開、15:00 無人の竹岡駅に到着。登り電車は約1時間後で、小休止の後、他に乗客の居ない待合所を占有して4人で自転車を置く。

・2日目の走りは、約5時間72Kmとなり、海岸線経由で、走行距離はほぼ予定通りとなった。完走を喜び合い車上の人となった。

・電車は君津駅で始発の東京直通の快速電車に乗り換え、空いているボックス席で缶ビールで乾杯。A氏は船橋駅、T氏は錦糸町から新宿へ、K・F両氏は東京駅で再度自転車を組立て板橋区内の自宅まで走る疲れを知らずの強豪振りも発揮してそれぞれ帰宅した。

以上

今回はたかお会特別企画活動にいただきましたが、初会でもあり、たかお会催行人員5人に至らなかったため、結果はプライベート活動に切り替えました。今後も日帰りサイクリングなどで同好の方を募っていきたく存じます。ご参加をお待ちして居ります。ゞ

(武田 記)